



いとう和男県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

佐原病院は命を守る砦

香取地域医療の中核 病院施設の整備要望

だれもが健やかに暮らせるふるさとづくりを注いでいる伊藤和男県議(香取市選出、8期)は2月定例県議会で一般質問を行い、県の施策や将来の施政方針について森田知事ら県執行部に質しました。伊藤県議は老朽化が目立つ佐原病院を取り上げ、「香取地域に住む人々の命を救う砦」として、建て替えを含む整備について質問、また、健康寿命の増進に寄与する保健所スタッフの充実を求めました。伊藤県議の質疑と県当局の答弁を紹介します。

2月定例県議会一般質問



2月定例県議会で一般質問を行う伊藤和男県議

病院局、経営の安定化を

伊藤議員 病院会計だが、赤字が当然のごとくやっていたのでは、県民に申し訳ない。県民の健康を守り、病気から県民を助ける、その大

きな課題と使命は重大だ。病院局には管理、監督、分析する人材が必要だ。しかし、経営感覚を持った人はゼロ。去年も赤字であったが、

しかし、今年ほこれだけ改善した、そういうことを県議会に示すだけの責任が病院局にある。そこで佐原病院だが、余

りにも赤字が増えている。プラスになる要因をすべて除外して経営をしている。これが誠に残念に思う。佐原病院は香取地域の

のデータは手元にございませぬが、今年度は病院の経営管理目標に関するヒアリングを行うため、昨年11月に子ども病院、循環器病センター、佐原病院のそれぞれを訪問し、実際に現場に出向き、病院長などの医療スタッフからヒアリング、意見交換などを行っております。

再質問 伊藤議員 佐原病院については、耐震だけでなく、出来れば建て替えるとか、他の病院と一緒に成田の新しい医科大学と連携を図りながら進めていただきたいが、知事にその決意をお聞かせいただきたい。

要望 伊藤議員 病院局の経営の安定化を図られるようなことをやらないといけない。お金が無くなったら知事部局に出してもらえば良いということではなく、独立した考え方を持ってもらいたい。が、依然として前年の形を踏襲しているだけだと指摘せざるを得ない。大きく舵

知事 県立佐原病院は、香取地域における中核病院として、救急医療、災害医療在宅医療などの役割を担っているところです。佐原病院が現在担っている地域医療の役割を果たせるよう、県内の大学医学部、地域の公立医療機関等とのネットワークの構築などにより医師等の確保に努め、救急医療、在宅医療などの診療体制充実を図るとともに、耐震性確保など必要な整備を行ってまいります。

伊藤議員 病院局長はこの4年間に佐原病院、循環器病センター、子ども病院の医療現場に何度出向いたのか。病院局長 過去4年間

病院局長ポストは 県の実情知る人に

再質問 伊藤議員 また、病院局長ポストも国からではなく、千葉県の内容を知っている人がやった方がよい。時代に合わせた改革をすべきと思うが、

市民の声を県政へ

●県政や香取市のご相談はお気軽にどうぞ

〒260-0855 千葉市中央区市場町9-1-101
TEL-FAX 043-202-2301
E-mail 12jimn221201@gmail.com

を切り直して、健康福祉部に県立病院課を作ることの一つの手段と考えるが、行政改革の方からも方向付けを検討していただくよう要望する。

その考えを示してほしい。副知事 組織の関係ですが、時代、時代に沿った前向きな考え方でやってまいります。

要望 伊藤議員 病院局長を国からもらう必要はなく、県内のことをよく知っている県職員を配置すべきである。

